

※ ↓ この欄には何も記入しないで下さい

全国高等学校 第8回 ビジネスアイデア甲子園 2009 応募用紙

提出日 2009年 10月 10日

ビジネスアイデア名	音楽療法配信サービス
アイデアの内容	<p>＜記入のポイント＞ ① アイディアの概要（どのようなものですか） ② アイディアを思いついたキッカケ ③ これまでのものとの違い ④ 商品やサービスなどのイメージ図 などを織り込んでまとめてください</p>
<p>①このサービスは、インターネットを通じてプロの音楽療法士が様々な人に音楽の力で“いやし”を届けるものです。病気と闘う人や障害者・その家族、精神的肉体的につかれている人、生活習慣病の人たちも対象となります。</p> <p>インターネット上で、利用者はメールを通じて状況・要望を相談します。</p> <p>音楽療法士はカウンセリングをしながら利用者の状況、要望を問診していきます。→音楽療法士は悩み、症状に応じて効果のある音楽を選び出して利用者に提案します。→利用者は試聴し、気に入ったら音楽（楽曲）を一定の価格で購入します。</p> <p>（例）血圧が朝のうちだけ高い… exモーツァルト交響曲14番第2楽章 （例）寝起きがわるい… exグリーグ「ペールギュント」朝の歌</p> <p>②③現在、音楽療法は発達障害・身体障害・高齢者のために一部利用されはじめていますが、余り一般的ではありません。施設などでしか利用できないもので気軽に利用できません。一方で生活習慣病や“病い”とされる以前の状態に音楽が効果があることが医学的にも実証されているのに余り役立っていません。</p> <p>CDやDVDがヒーリング目的に売られていますが、1人1人のニーズに答えているとはいえません。薬と同じで処方せんが必要です。音楽療法士も400名近くいますが、十分な仕事の場もありません。音楽療法士を音の薬剤師として活用したいとの思いから考えました。</p> <p>お仕着せの音楽ではなく、利用者側に音楽を選ぶ余地があり、なおかつコンピュータ・インターネットを通じての配信なのでいつでも・どこでも気軽に音楽療法（きちんとカウンセリングにもとづいたもの）が受けられるのが、今までとの大きなちがいです。音楽配信の全く新しい形でもあります。</p> <p>④イメージ図</p> <div style="text-align: center;"><pre>graph LR; A[利用者のパソコン] -- "メールで依頼" --> B[音楽療法配信サービス プロの音楽療法士]; A -- "問診" --> B; B -- "音楽の処方せん" --> A; C[試聴・購入・ダウンロード];</pre></div>	

【注意事項】 応募は、本紙またはコピーを使用してください。また、この応募用紙のフォームデータは「ビジネスアイデア甲子園」ホームページ <http://ouc.dai-shodaiaac.jp/ec/venture/kousien> からダウンロードも可能です。
追加資料は、A4サイズで2枚以内を別に添付してください。※規定を超えるものについては審査の対象外となりますのでご注意ください。